

建築物の日常的災害に関する調査 その2

— 実態調査の概要 —

正会員 内田祥哉^{*1}同 宇野英隆^{*2} ○同 直井英雄^{*3}同 島巣元太^{*4}同 宮本洋一^{*5} 同 石川哲男^{*6}

1. 調査の目的

日常的災害といふのは、一件一件の規模は小さいが、きわめて広範囲に、しかも非常に高い頻度で生じてゐる災害であり、地震や火災などの大規模な災害と比べても決して軽視できないものである。この調査は、実際に建物の中でどのような日常的災害がどのくらい発生しているかと/orを明らかにするために、まずその第一段階として、主として定性的な実態の把握をすることを目的として行なったものである。したがって、対象となる日常的災害としては、けがに到らないような事故あるいは単なる不快感として経験されるような軽度なものから、新聞の調査にもあらわれたような重傷や死傷に至る重度なものまで、広い範囲を考えていよ。

2. 調査方法について

調査の方法はいくつか考えられたが、個人個人の記憶にしか残っていない日常的災害まで挙集したいといふことと、調査ものの物理的困難さの程度などを考えあわせて、結局、アンケート調査の方法をとることにした。オフィスビルに関しては各ビルの担当者を通して調査用紙の配布、回収を行ない、共同住宅、個人住宅は調査者が直接配布、回収をした。被調査者の抽出にあたっては、なるべく無作為になるような配慮をしたが、必ずしも完全な無作為抽出をしたとはいえないこと、また被調査者側の条件の違いによって、ほぼ実態に近いと思われるデータを集められた所と、ほとんどデータの集まらなかつた所とがあつたことを付記しておく。

3. 調査対象について

調査の対象として、右表に示すような 2 種(細かく分ければ 3 種)の建築を選んだ。これは、人間と建物とのかかわりを考える際、この 2 つのものを代表として考えるのが適当ではないかという判断からである。

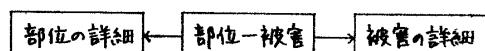
調査対象

オフィスビル	9ビル	それぞれ 20~30人
住宅	共同住宅	3団地 計約90戸
	個人住宅	約50戸

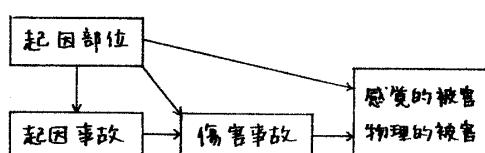
4. 調査用紙について

調査用紙は、右図に示すような 3 つの部分から構成されている。「部位-被害」というのは、どの部位とのかかわりでどんな被害を体験したかを問う部分であり、この調査用紙の中に部である。「被害の詳細」は、体験した被害をさらにくわしく問う部分であり、「部位の詳細」は、その被害を生ぜしめた部位をくわしく記録する部分である。「部位-被害」については、最も一般的に生ずると考えられるもの 146 種を選べ、右図に示す構成にしたがって、裏面に示すように体系的に配列してある。「部位-被害」および「被害の詳細」は被調査者が記入し、「部位の詳細」は調査者が記入する。

調査用紙の構成



「部位-被害」の構成



5. 調査結果について

調査の結果として得られた件数は 1881 件で、内訳はオフィスビル 962 件、住宅 919 件(共同住宅 484 件、個人住宅 435 件)である。データ数としては決して多いとはいえないが、おおまかな傾向を把握するには十分であろう。「部位-被害」に関する調査結果はその 3、その 4 で、「被害の詳細」に関する結果はその 5 で述べよ。「部位の詳細」に関する調査は、まだ結果をまとめた段階にはなっていないので今回は省略することにした。また、量的な検討は意識的に行なわなかつたが、今後の問題として考えてみたいと思ってい。なお、裏面に示した 146 種の被害例のなかで、「その他不快・危険を……」の項を選んだものが全体の約 8% であったことを考えると、この表はほぼ日常的災害のすべてを網羅していると考えてよいのではないかと思われる。

A欄 1つ選んで()内に印をつけて下さい。

床	すべった	ころんだん	けがをした	1	落ちそうになつた	1	落ちそうな感じがする	1	ひつかけた	1	けがをした	1	落ちました	1	けがをしました	1	74
	——	——	——	2	——	——	——	——	——	3	——	——	——	——	——	——	75
すべりをうで歩きにくくい つまづいた	——	——	——	4	けがをした	——	——	——	——	5	けがをした	——	——	——	——	76	
	——	——	——	5	けがをしなかつた	——	——	——	——	6	けがをした	——	——	——	——	77	
階段・スロープ	すべつた	ころんだん	けがをした	7	その他不快・危険を感じたり、けがをしたことがある	——	——	——	——	8	けがをした	——	——	——	——	78	
	——	——	——	9	——	——	——	——	10	——	——	——	——	——	——	79	
凹凸があつて歩きにくく 遠くて歩きにくい	——	——	——	11	けがをした	——	——	——	——	12	けがをした	——	——	——	——	80	
	——	——	——	13	けがをした	——	——	——	——	14	けがをした	——	——	——	——	81	
靴くつで歩きにくく 踏みやぶつた	——	——	——	15	けがをした	——	——	——	——	16	けがをした	——	——	——	——	82	
	——	——	——	17	——	——	——	——	18	——	——	——	——	——	——	83	
色が不快だ 光りすぎで不快だ	——	——	——	19	——	——	——	——	20	——	——	——	——	——	——	84	
	——	——	——	21	——	——	——	——	22	——	——	——	——	——	——	85	
滑りと音やりとりして不快だ ゆれい不快だ	——	——	——	23	——	——	——	——	24	——	——	——	——	——	——	86	
	——	——	——	25	——	——	——	——	26	——	——	——	——	——	——	87	
壁・柱	えらべー ター・エスカレーター	——	——	27	——	——	——	——	28	——	——	——	——	——	——	88	
	——	——	——	29	——	——	——	——	30	——	——	——	——	——	——	89	
壁下物があつた その他の不快・危険を感じたり、けがをしたことがある	——	——	——	31	——	——	——	——	32	——	——	——	——	——	——	90	
	——	——	——	33	——	——	——	——	34	——	——	——	——	——	——	91	
壁下物があつた その他の不快・危険を感じたり、けがをしたことがある	——	——	——	35	——	——	——	——	36	——	——	——	——	——	——	92	
	——	——	——	37	——	——	——	——	38	——	——	——	——	——	——	93	
天井・梁	ドアにはさまれた ドアにはひきこまれた	——	——	39	——	——	——	——	40	——	——	——	——	——	——	94	
	——	——	——	41	——	——	——	——	42	——	——	——	——	——	——	95	
出入口・窓など	家具 器具	——	——	43	——	——	——	——	44	——	——	——	——	——	——	96	
	——	——	——	45	——	——	——	——	46	——	——	——	——	——	——	97	
窓・雨引 ガラス	はさまれた レールにひつかつた	——	——	47	——	——	——	——	48	——	——	——	——	——	——	98	
	——	——	——	49	——	——	——	——	50	——	——	——	——	——	——	99	
開閉の音がうるさい 開閉が重い	はさまれた われながつた	——	——	51	——	——	——	——	52	——	——	——	——	——	——	100	
	——	——	——	53	——	——	——	——	54	——	——	——	——	——	——	101	
把手・鍵	ガラスにぶつかつた われながつた	——	——	55	——	——	——	——	56	——	——	——	——	——	——	102	
	——	——	——	57	——	——	——	——	58	——	——	——	——	——	——	103	
把手・鍵	ほかをした ほかをした	——	——	59	——	——	——	——	60	——	——	——	——	——	——	104	
	——	——	——	61	——	——	——	——	62	——	——	——	——	——	——	105	
窓	開閉でけがをした 把手・鍵をまわしてはさまれた	——	——	63	——	——	——	——	64	——	——	——	——	——	——	106	
	——	——	——	65	——	——	——	——	66	——	——	——	——	——	——	107	
手摺	ほかをした ほかをした	——	——	67	——	——	——	——	68	——	——	——	——	——	——	108	
	——	——	——	69	——	——	——	——	70	——	——	——	——	——	——	109	
その他不快・危険を感じたり、けがをしたことがある	ほかをした ほかをした	——	——	71	——	——	——	——	72	——	——	——	——	——	——	110	
	——	——	——	73	——	——	——	——	74	——	——	——	——	——	——	111	

*1 東大教授・工博 *2 千葉工大教授・工博
 *3 東大大学院 *4 竹中工務店 *5 清水建設